

# 社労士通信講座おすすめランキング 選定・評価ガイドライン

発行日: 2026年2月22日

発行元: 各種通信講座 - 株式会社キャリア・ブレーション 比較・検証編集部

## 1. 本ランキングの目的と基本方針

本ガイドラインは、[社会保険労務士\(社労士\)試験](#)の合格を目指す受験者が、自分に最適な通信講座を選択できるよう、当編集部が独自に設定した評価基準と審査プロセスを公開するものです。

社労士試験は合格率6~7%台の難関国家資格であり、通信講座の選択が学習効率と合格可能性に大きく影響します。本ランキングでは、社労士通信講座の主要10社を対象に、教材品質・カリキュラム・費用対効果・合格実績・サポート体制の5軸で公平かつ透明性の高い評価を行います。

### 評価の基本原則

- 客観性の担保:** 各社の公式サイト・公式発表資料に基づき事実確認を行い、検証可能な情報のみを評価対象とする
- 受験者視点の重視:** 「合格に必要な学習環境が整っているか」を最重要基準とし、教材の質・カリキュラム・サポート体制を重点的に審査する
- 費用対効果の公平評価:** 表示価格だけでなく、返金保証・教育訓練給付金・合格特典等を含めた「実質的な費用対効果」を総合的に評価する
- 情報開示の評価:** 合格率・合格者数等の実績情報を積極的に開示している講座を高く評価する

## 2. 評価項目と配点 (各5.0点満点 / 総合評価 = 5項目の平均値)

当編集部では、以下の5つの大項目 (各5.0点満点) を設定し、厳格な審査を行っています。総合評価は5項目の平均値 (小数第1位まで) として算出します。

評価項目	配点	審査のポイント
(1) 教材・講義の質	5.0点	講義動画の時間数・質、テキスト教材の構成・品質、スマホeラーニング等のデジタル対応を審査
(2) 学習カリキュラム	5.0点	カリキュラムの体系性、問題演習・模試・添削の充実度、学習期間の柔軟性を審査
(3) 受講料	5.0点	基本受講料の水準に加え、返金保証・教育訓練給付金・割引制度を含めた「実質的な費用対効果」を審査
(4) 合格実績	5.0点	合格率・合格者数の公表状況、開講実績年数、受講者数、合格保証制度の有無を審査

評価項目	配点	審査のポイント
(5) サポート体制	5.0 点	質問対応 (回数・手段・回答速度)、添削指導、合格保証・延長制度等の受講者支援を審査

## 総合評価の算出式

$$\text{総合評価} = ((1) + (2) + (3) + (4) + (5)) / 5$$

## 3. 評価基準の詳細スコアリング

各項目の具体的な採点基準は以下の通りです。

### (1) 教材・講義の質 (5.0点満点)

講義動画の有無と質、テキスト教材の構成、デジタル学習環境の充実度を総合的に評価します。

スコア	採点基準詳細
5.0	専門講師による体系的な講義動画 (100時間以上) + フルカラー/オリジナルテキスト + スマホアプリ・eラーニングシステム完備。オフライン学習・倍速再生等の機能も充実
4.5	講義動画あり (80時間以上) + 良質なテキスト教材 + スマホeラーニング対応。学習に必要な教材が高水準で揃っている
4.0	講義動画あり (80時間以上) + テキスト教材 + Web視聴・スマホ対応。大手予備校レベルの教材品質
3.5	講義動画あり (20時間以上) + テキスト教材あり。部分的なデジタル対応で、一定の教材水準を満たしている
3.0	テキスト中心の教材構成で映像講義が限定的。テキスト自体は体系的だが、独学力が求められる
2.5	テキスト中心で映像講義が限定的。教材の量・種類が限定的、または講義時間が非公開
2.0	最小限の教材構成。体系的な教材設計に欠ける

### (2) 学習カリキュラム (5.0点満点)

学習計画の体系的性、演習・模試・添削の充実度、学習期間の柔軟性を総合的に評価します。

スコア	採点基準詳細
5.0	明確な学習ロードマップと進捗管理機能 + 過去問・模擬試験・添削が充実 + 受講期間の延長制度あり。合格まで伴走する体制が整っている
4.5	体系的なカリキュラム + 添削・問題演習が充実 + 柔軟な学習期間。高い学習効果が見込める構成
4.0	体系的なカリキュラム + 問題演習・学習管理機能あり。自走力があれば十分に合格を目指す
3.5	基本的なカリキュラム + 添削指導 or 問題演習あり。標準的な学習体制

スコア	採点基準詳細
3.0	テキスト自学自習型で添削指導あり。カリキュラムの体系性はあるが、学習計画は自己管理が前提
2.5	カリキュラムが簡素で、学習の道筋が限定的
2.0	教材購入型で明確なカリキュラムなし。学習計画は完全に自己管理

### (3) 受講料 (5.0点満点)

基本受講料の水準に加え、返金保証・教育訓練給付金・割引制度を含めた「実質的な費用対効果」を総合的に評価します。社労士通信講座の受講料相場 (4万円台～30万円台) を踏まえ、以下の基準で採点します。

スコア	採点基準詳細
5.0	実質負担が極めて低い。以下のいずれかに該当: 基本料金5万円未満 / 合格時全額返金制度により実質0円 / 教育訓練給付金適用後の実質負担3万円未満
4.5	基本料金5万～7万円台の本格講座。または教育訓練給付金適用で実質5万円を下回る
4.0	基本料金7万～10万円台。または給付金・合格特典を含めた実質負担が7万円前後
3.5	基本料金10万～15万円台。給付金対象で実質負担が10万円前後、またはセーフティコース等の複数年保証あり
3.0	基本料金15万～20万円。複数年保証や合格特典を含めて一定の価値はあるが、初期費用は高め
2.5	基本料金20万～25万円
2.0	基本料金25万円以上

### (4) 合格実績 (5.0点満点)

合格率・合格者数の公表状況、開講実績、受講者規模、合格への自信を示す制度の有無を総合的に評価します。

スコア	採点基準詳細
5.0	合格率を具体的数値で公表 (全国平均の4倍以上) + 合格者数の実績あり。データの透明性が高い
4.5	合格率を具体的数値で公表 (全国平均の3倍以上)。または合格者数1,000名以上の累計実績 + 長期の開講実績
4.0	合格率非公表だが、合格者数を具体的に公表 (数百名規模)。大手予備校としての信頼性あり
3.5	合格率を公表しているが算出対象が限定的 (修了者のみ等)。または大手予備校ブランドとしての高い認知度
3.0	合格率非公表。開講実績5年以上あり、法人導入実績がある等、一定の信頼基盤がある
2.5	合格率非公表。実績情報が限定的で、外部からの検証が困難
2.0	合格実績に関する情報がほぼ公開されていない

### (5) サポート体制 (5.0点満点)

質問対応の充実度、添削指導、合格保証・延長制度等、受講者を支える体制を総合的に評価します。

スコア	採点基準詳細
5.0	質問対応が充実 (無制限 or 10回以上、24h以内回答) + 添削4回以上 + 合格保証 (返金 or 延長) + 手厚い個別フォロー
4.5	質問対応あり + 合格保証制度 (全額返金保証等) あり。受講者支援が手厚い
4.0	質問対応あり (無制限または10回以上) + 自習室・教室聴講等の付加サービスあり。または担任制サポート
3.5	質問対応あり (電話・メール) + 個別カウンセリング等の学習支援。標準以上のサポート体制
3.0	質問対応あり (回数制限あり) + 添削指導あり。標準的なサポート体制
2.5	質問対応あり (回数制限あり or 一部コースのみ)。添削等の個別指導が限定的
2.0	サポートがほぼ提供されていない (教材販売のみ)

## 4. 全10社の総合評価一覧表

上記基準に基づき算出した、各社のスコア内訳は以下の通りです。

順位	講座名	総合評価	(1) 教材・講義の質	(2) 学習カリキュラム	(3) 受講料	(4) 合格実績	(5) サポート体制
1位	アガルト	4.8	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0
2位	スタディング	4.7	4.5	5.0	5.0	5.0	4.0
3位	フォーサイト	4.5	4.5	4.5	4.0	5.0	4.5
4位	ユーキャン	4.2	3.5	4.0	4.0	4.5	5.0
5位	クリアール	4.0	4.0	4.5	3.0	4.5	4.0
6位	資格の大原	3.8	3.5	4.0	3.5	4.0	4.0
7位	LEC	3.6	4.0	4.0	2.5	3.5	4.0
8位	TAC	3.3	4.0	4.0	2.5	3.5	2.5
9位	伊藤塾	3.2	4.0	3.5	2.5	2.5	3.5
10位	キャリアカレ	2.6	2.5	2.0	4.0	2.0	2.5

## 5. 各社スコア内訳と評価理由

### 1位: アガルート (総合 4.8)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	5.0	約170~200時間の体系的な講義動画を提供。フルカラーテキストは本試験カバー率90%以上。竹田講師をはじめとする実力派講師陣による講義。初学者向け・学習経験者向けにコースが分かれており、レベルに合った教材が揃っている
(2) 学習カリキュラム	5.0	初学者向け(入門カリキュラム)と学習経験者向け(中上級/上級カリキュラム)の学力別コースを完備。基礎講義から過去問対策・選択式対策・模試まで段階的に学習可能。月1回のホームルーム配信で進捗管理もサポート
(3) 受講料	4.0	基本料金87,780円~272,800円。合格時に受講料全額返金またはお祝い金3万円の特典あり。教育訓練給付金対象講座あり(2027年度向け講座より)。定期的に割引セールを実施
(4) 合格実績	5.0	2025年度合格率29.45%(一般合格率の5.38倍)を公表。受講生全体を対象とした合格率を具体的数値で開示しており、データの透明性が高い
(5) サポート体制	5.0	回数無制限の質問対応。月1回のホームルーム配信による学習指導。合格時全額返金制度により受講者の学習意欲を高める仕組みを整備

### 2位: スタディング (総合 4.7)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.5	約131~179時間の講義動画をスマホ完結で提供。1本5~20分程度の短時間動画で、通勤や休憩時間のスキマ学習に最適。フルカラーWebテキスト(冊子版はオプション)。AI問題復習機能を搭載
(2) 学習カリキュラム	5.0	学習フロー機能で最適な学習順序を自動提案。AI実力スコアによる弱点分析と復習タイミングの最適化。ゲーミフィケーション要素でモチベーション維持。ミニмум/レギュラー/フルの3コースから選択可能
(3) 受講料	5.0	基本料金46,800円~89,800円で業界最安水準。合格お祝い金10,000円制度あり。教育訓練給付金対象講座あり(フルコース)。冊子版テキスト付きオプションは各コース+15,000円
(4) 合格実績	5.0	2025年度合格率30.0%(一般合格率の5.45倍)、合格者353名を公表。受講生全体を対象とした合格率を具体的数値で開示している
(5) サポート体制	4.0	フルコースのみ学習Q&Aチケット30枚付属。AI実力スコアと勉強仲間機能による学習支援。ミニмум・レギュラーコースには質問サポートなし。基本的に自走できる受講者向けの設計

### 3位: フォーサイト (総合 4.5)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.5	約88～105時間の講義動画。フルカラーテキストで視覚的に分かりやすい教材設計。eラーニングシステム「ManaBun」でスマホ・PC対応。AIによる学習進捗の最適化機能搭載
(2) 学習カリキュラム	4.5	バリューセット1～3の3コース展開。eライブスタディでリアルタイム参加型学習を提供。基礎～過去問対策～直前対策まで段階的に構成。バリューセット3は全講座+返金保証のフルパッケージ
(3) 受講料	4.0	基本料金78,800円～121,800円。全3コースが教育訓練給付金対象。バリューセット3は不合格時全額返金保証付きで実質的なリスクが低い
(4) 合格実績	5.0	2024年度合格率27.70% (一般合格率の4.01倍) を公表。受講生全体を対象とした合格率を具体的な数値で開示している
(5) サポート体制	4.5	ManaBunによるeラーニングサポート。eライブスタディで講師とリアルタイムにやり取り可能。バリューセット3では不合格時全額返金保証を提供 (条件あり)

### 4位: ユーキャン (総合 4.2)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	3.5	講義動画は約20～30時間 (5～6分x約250本) でガイダンス的な内容が中心。フルカラーテキストは初学者にも分かりやすい構成。スマホでのデジタル学習にも対応
(2) 学習カリキュラム	4.0	7ヶ月の学習期間で体系的にカリキュラムが構成されている。テキスト中心の自学自習型だが、添削指導全11回が学習の道しるべとなる。分割払い (月々4,980円x16回) にも対応
(3) 受講料	4.0	受講料79,000円 (一括)。教育訓練給付金対象で受講料の20% (最大10万円) が戻る。分割払いにも対応
(4) 合格実績	4.5	過去10年で1,483名以上の合格者を輩出。30年以上の社労士講座運営実績を持つ老舗ブランド。合格率は非公表だが、長期にわたる累計合格者数の実績がある
(5) サポート体制	5.0	添削指導全11回。質問対応は1日3回まで、講師陣による迅速な回答。30年以上の指導ノウハウに基づく手厚い個別フォロー体制

### 5位: クレアル (総合 4.0)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.0	約189～208時間/年の講義動画。北村講師・斎藤講師の分かりやすい講義。テキストは2色刷りオリジナル。「非常識合格法」に基づき合格に必要な範囲に絞った効率的な教材

評価項目	スコア	評価根拠
(2) 学習カリキュラム	4.5	「非常識合格法」に基づく効率重視のカリキュラム。セーフティコース(2年保証)で複数年の学習計画に対応。初学者向け～上級者向けまで5つのコースを展開。月割り割引制度で早期申込がお得
(3) 受講料	3.0	基本料金158,000円～248,000円。教育訓練給付金対象講座あり(4コース)。合格時お祝い金2万円+未受講分返金の特典あり。月割り割引制度で時期により割引あり
(4) 合格実績	4.5	2024年度合格率26.2%を公表。全国平均を大きく上回る合格実績を数値で開示している
(5) サポート体制	4.0	担任制サポートで専任担任による個別指導。質問は回数無制限で対応。セーフティコースでは不合格時に翌年の受講を保証

## 6位: 資格の大原 (総合 3.8)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	3.5	「社労士24」は24時間でインプットを完結するコンパクト講義。フルコースは最大168時間の講義。金沢講師・石戸講師など実力派講師陣。テキストはモノクロのオリジナル教材
(2) 学習カリキュラム	4.0	社労士24、合格コースinアドバンス16/9、合格コース、経験者合格コースなど多彩なコース展開。通学・通信・Webから学習スタイルを選択可能。全国校舎ネットワークで教室聴講も可能
(3) 受講料	3.5	社労士24は79,800円と比較的手頃だが、フルコースは200,000～235,000円。教育訓練給付金対象講座あり(3コース)。社労士24+直前対策セット(128,000円)が費用対効果の高い選択肢
(4) 合格実績	4.0	2024年度合格者689名を公表。4年連続トップクラスの合格者数。合格率は非公表だが、大手予備校として具体的な合格者数を継続的に開示している
(5) サポート体制	4.0	質問対応は回数無制限。全国の校舎で自習室利用可能。教室聴講制度あり。Web通信の受講生も校舎施設を活用できる

## 7位: LEC (総合 3.6)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.0	約200時間の講義動画。横溝講師等4人の講師から自分に合った講師を選択可能。網羅的なオリジナルテキスト。本試験の的中率が高い模擬試験を提供
(2) 学習カリキュラム	4.0	合格コース、基礎+合格コース、中上級コース、工藤プロジェクト、スピードマスターなど多彩なコース展開。通学・通信・Webから選択可能。的中率の高い模試による実力確認
(3) 受講料	2.5	基本料金152,000円～311,000円で高価格帯。教育訓練給付金対象講座あり(5コース)。各種割引キャンペーンを随時実施しているが、フルコースの工藤プロジェクトは311,000円と高額

評価項目	スコア	評価根拠
(4) 合格実績	3.5	合格率・合格者数ともに非公表。ただし40年以上の法律系資格指導実績を持つ老舗予備校として高いブランド認知度がある
(5) サポート体制	4.0	「教えてチューター」によるオンライン質問対応。テレホンチューターで電話質問も可能。通学受講の場合は教室で講師に直接質問可能

### 8位: TAC (総合 3.3)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.0	約200～300時間の講義動画。40人以上の講師陣から選択可能。網羅性の高いオリジナルテキスト。Webフォロー標準装備で通学生もWeb講義を視聴可能
(2) 学習カリキュラム	4.0	インプットからアウトプットまで段階的な学習設計。1.5年本科生、総合本科生、速修本科生、スマートWeb本科生など8ヶ月～18ヶ月の多様なコースを展開。完成度の高い全国模試
(3) 受講料	2.5	基本料金115,500円～308,000円。標準的な総合本科生は231,000円～と高額。教育訓練給付金対象講座あり(5コース)。各種割引制度を随時実施
(4) 合格実績	3.5	2024年度本科生カリキュラム修了者の合格率41.1%、合格者246名を公表。ただし算出対象は「本科生カリキュラム修了者」に限定されており、受講生全体の数値ではない点に留意が必要
(5) サポート体制	2.5	質問メール60回の回数制限あり。電話質問には対応なし。通学の場合は教室で講師に質問可能だが、通信受講者へのサポートは限定的

### 9位: 伊藤塾 (総合 3.2)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	4.0	約120時間の講義動画。暗記よりも理解を重視した「伊藤メソッド」による講義。佐野講師の分かりやすい解説。問題演習アプリでスマホでの演習にも対応
(2) 学習カリキュラム	3.5	社労士合格講座の1コース展開。理解重視の伊藤メソッドに基づくカリキュラム。科目間のつながりを体系的に学べる構成。クラスマネージャー制度による学習進捗管理サポート
(3) 受講料	2.5	基本料金218,000円。キャンペーン時は最大30%OFFで約15万円～。教育訓練給付金の指定講座なし。合格特典もなし
(4) 合格実績	2.5	合格率・合格者数ともに非公表。司法試験等の法律系資格では圧倒的な実績があるが、社労士講座としては比較的新しく、社労士分野での実績情報が限定的
(5) サポート体制	3.5	質問対応あり。個別カウンセリング対応でモチベーション維持を支援。クラスマネージャー制度による学習進捗のフォロー

## 10位: キャリカレ (総合 2.6)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	2.5	講義時間は非公開。北村庄吾先生監修のオリジナルテキスト。テキストは条文主体で見やすさの配慮が限定的。Aコース/Bコース/Cコースの3コース展開
(2) 学習カリキュラム	2.0	学習期間の目安は4ヶ月と短く設定。学習スケジュール通りに進めても模擬試験の配置タイミングに問題があるとの指摘あり。全額返金保証の条件 (添削問題平均得点率70%以上) との整合性に疑問の声も
(3) 受講料	4.0	基本料金78,800円～88,800円。ネット申込で10,000円割引。不合格時全額返金保証あり (条件: 添削問題平均得点率70%以上)。合格時は2講座目無料の特典
(4) 合格実績	2.0	合格率・合格者数ともに非公表。社労士講座としての合格実績に関する情報がほぼ公開されていない
(5) サポート体制	2.5	質問対応は回数無制限。最長700日間 (約2年) のサポート期間。添削指導あり。ただし、不合格時全額返金保証の条件が厳しく (添削問題平均得点率70%以上)、保証の実効性に課題がある

## 6. 各評価項目の講座間比較サマリー

### (1) 教材・講義の質 トップ3

- **1位: アガルート (5.0)** - 約170～200時間の体系的講義動画+フルカラーテキスト (カバー率90%以上)+学力別教材。講義量・教材品質ともに最高水準
- **2位: スタディング (4.5)** - 約131～179時間の講義をスマホ完結で提供。AI問題復習機能やフルカラーWebテキストなどデジタル学習環境が充実
- **2位: フォーサイト (4.5)** - 約88～105時間の講義+フルカラーテキスト+ManaBunのeラーニングシステム。視覚的に分かりやすい教材設計

### (2) 学習カリキュラム トップ3

- **1位: アガルート (5.0)** - 学力別カリキュラム (初学者/中上級/上級) で最適な学習ルートを提供。模試・選択式対策まで完備
- **1位: スタディング (5.0)** - AI学習フロー機能、弱点分析、ゲーミフィケーション要素で効率的な学習を実現
- **3位: クレアール (4.5)** - 「非常識合格法」で合格に必要な範囲に特化。セーフティコース (2年保証) で柔軟な学習計画

### (3) 受講料 トップ3

- **1位: スタディング (5.0)** - 業界最安水準の46,800円～。合格お祝い金10,000円。教育訓練給付金対象
- **2位: アガルート (4.0)** - 87,780円～で合格時全額返金特典あり。実質0円の可能性がある点で費用対効果が高い
- **2位: フォーサイト (4.0)** - 78,800円～でバリューセット3は不合格時全額返金保証付き

- **2位: ユーキャン (4.0)** - 79,000円で教育訓練給付金対象。分割払い対応
- **2位: キャリカレ (4.0)** - 78,800円〜で不合格時全額返金保証あり (条件付き)

#### (4) 合格実績 トップ3

- **1位: アガルート (5.0)** - 合格率29.45% (全国平均の5.38倍) を公表。データの透明性が最も高い
- **1位: スタディング (5.0)** - 合格率30.0% (全国平均の5.45倍)、合格者353名を公表
- **1位: フォーサイト (5.0)** - 合格率27.70% (全国平均の4.01倍) を公表

#### (5) サポート体制 トップ3

- **1位: アガルート (5.0)** - 質問無制限+月1回ホームルーム+合格時全額返金制度
- **1位: ユーキャン (5.0)** - 添削指導全11回+1日3回質問対応+30年以上の指導ノウハウ
- **3位: フォーサイト (4.5)** - ManaBun+eライブスタディ+不合格時全額返金保証 (バリューセット3)

---

## 7. 免責事項

- 本評価基準は、当編集部が独自に設定したものであり、各講座提供会社の公式見解ではありません。
- 各社の受講料・サービス内容は2026年2月時点の情報に基づいています。最新情報は各社公式サイトでご確認ください。
- キャンペーン価格・割引制度は時期により変動する場合があります。
- 合格実績 (合格率・合格者数) は各社の公式発表に基づいており、算出方法・対象期間は各社により異なります。
- 本ランキングは特定の講座への誘導を目的としたものではなく、受験者の講座選択を客観的に支援することを目的としています。

以上